様式第２号（別表関係）

 年　 　月　 　日

酒田市長　宛

申請者氏名

母子保護の実施に関する費用に係る寡婦（夫）のみなし適用申請書

私は、母子保護の実施に当たり、当該給付の費用負担の算定に関して、寡婦（夫）のみなし適用を受けたいので、次のとおり申請します。

また、市長が必要と認めた範囲内において、児童扶養手当の支給に関する情報、申請者及び対象となる子の課税状況その他の寡婦（夫）とみなすために必要な情報を関係部署に照会し、又は情報提供すること並びに申請内容に虚偽があった場合は、市長が、寡婦（夫）のみなし適用を取り消し、当該申請に基づき適用された費用の減額分について追加徴収を行うことについて同意します。

|  |  |
| --- | --- |
| 適用区分 | □　婚姻によらないで母となった女子であって、現に婚姻をしていない者のうち、扶養親族その他その者と生計を一にする子（前年の所得が基礎控除額以下である子）を有するもののうち、下記のいずれにも該当しないもの□　婚姻によらないで母となった女子であって、現に婚姻をしていない者のうち、扶養親族その他その者と生計を一にする子（前年の所得が基礎控除額以下である子）を有するもののうち、扶養親族である子を有し、かつ、前年の所得が500 万円以下であるもの□　婚姻によらないで父となった男子であって、現に婚姻をしていない者のうち、扶養親族その他その者と生計を一にする子（前年の所得が基礎控除額以下である子）を有し、前年の所得が500 万円以下であるもの |
| 子の氏名 |  |

（注）１　該当する項目の□にレ印を記入すること。

２　「前年の所得」とは、地方税法第313条第１項に規定する所得（同項の総所得金額、退職所得金額及び山林所得金額をいう。以下同じ。）の合計額

３　「基礎控除額」とは、所得税法第86条第２項に規定する基礎控除の額に相当する金額をいう。

４　次に掲げる書類を添付すること。

(1) 申請者及び子の戸籍全部事項証明書

(2) その他市長が必要と認める書類